



町長の行政報告を お知らせします

八峰町9月議会定例会が9日から18日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

八峰町総合振興計画、総合戦略 年度内の策定へ向け審議開始

第2次八峰町総合振興計画の策定についてですが、7月9日、ファガスにおいて、第1回審議会を開催し、町内の諸団体の長やその団团长から推薦された方々など36名に委嘱状を交付するとともに、計画の年度内策定へのご協力をお願いしました。今後の予定ですが、町が示した素案を基に審議会の各部会や全体会で十分に協議していただき、基本構想及び前期基本計画の答申案については、来年2月末までに纏めていただきたいと思います。なお、基本構想については、3月議会定例会に議案として提案したいと考えています。



また、八峰町版総合戦略の策定につ

いてですが、7月21日、役場大会議室において、第1回策定委員会を開催し、産業界、教育機関、金融機関、移住者、子育て世代など幅広い分野、世帯の代表の方々13名に委嘱状を交付するとともに、人口ビジョン及び総合戦略案の策定をお願いしました。また、会議では、八峰町人口ビジョン策定に係る調査を委託している秋田経済研究所から、本町の人口の現状分析に関する中間報告がありました。

1トしました。本町のプロジェクトですが、プロジェクト名は「(仮称)おがる八峰しいたけプロジェクト」、事業期間は、平成28年度から平成30年度まで、事業内容は、「地元定着を促進するための取組」「菌床しいたけ実践研修施設の充実等による就労の場の確保」「魅力ある特産品づくりと積極的なPR・プロモーション」です。

県との未来づくり協働プログラム 本町は「しいたけ」を軸に展開

秋田県市町村未来づくり協働プログラムについて報告します。平成24年度の制度創設以来、懸案となっていました本町の未来づくりプロジェクトですが、県の関係各課との事前協議が整い、素案が纏まったことから、その内容を協議・評価するための「あきた未来づくり本部会議」が8月31日に県庁で開催されました。また、9月8日には、第1回八峰町プロジェクトチーム会議が役場庁舎で開催され、プロジェクト策定に向けた本格的な協議がスタ

人口流出防止・地域活性化を 能代山本定住自立圏構想

定住自立圏構想についてですが、6月議会定例会で報告しましたとおり、現在、能代山本定住自立圏構想検討会を立ち上げ、能代市と山本郡3町が連携・協力して、大都市圏への人口流出防止、定住促進、地域活性化等を図るための具体策について協議しています。

夏場の観光客の動向 ほぼ前年度と同数に

7月16日に、岩館海浜プールで海開きを行っています。海浜プールを利用された方は、7月が前年に比べ40%減の6,700人、8月は持ち直し、前年に比べ21%増の21,600人となっており、2ヶ月合計で、前年度とほぼ同数の28,300人となっています。

一方、7月24、25日の大雨により、土砂崩れが発生し、町道白神二ツ森線をやむなく通行止めとしましたが、8月4日の開通まで10日余りを要し、二ツ森観光に大きな影響が出ました。

折しも、登山シーズンの時期と重なったこともあり、この間に予定されていた二ツ森登山ツアーなどが中止を余儀なくされ、7月にガイドを利用した登山者数は、前年に比べ15%減となっています。幸い、その後は天候にも恵まれ、登山者数は、6月から8月の3ヶ月間で、前年に比べ20%の増となり、数多くの登山客から、世界自然遺産白神山地を満喫していただくことができました。

河川が氾濫した7月豪雨 農業関係被害額2,125万円

7月24日から25日に発生した豪雨による災害の被害状況について説明します。



まず農業関係では水田の法面が崩落した農地災害が4カ所、用水路や農道の法面等が決壊した農業施設災害が9カ所発生し、被害額は約2,000万円となっています。農作物については、川沿いを中心に水稲など約80ヘクタールが冠水する被害がありました。そのうち、土砂流入、埋没によって収穫不能となった大豆やソバ、水稲が合わせて5ヘクタールあり、被害額は125万円となっています。

林道関係では、最も被害額の大きかった「峰浜線」で法面崩落が3カ所発生したほか、「泊沢線」や「水の目線」「水沢山線」など合わせて14路線で路面洗掘や路肩決壊、法面崩落、土砂流出などの被害があり、被害総額は約9,000万円となっています。特に、林道峰浜線の崩落箇所と農業施設の岩子用水路崩落箇所については、国庫補助事業による災害復旧工事に申請すべく設計書作成など準備を進めているところですが、

小中学校の統合へ向けて 校歌や校章などの協議が進む

八峰町小学校及び中学校統合同協議会の協議内容について報告します。6月23日に9回目の協議会を開催して「校歌」「中学校の制服」「校章」等について協議しています。

校歌については詩の内容等に再考の意見がありました。最終的には教育委員会が作詞者及び作曲者と変更等含め協議を行いながら進めて良いということになりました。10月には新小中学校の校歌が出来上がる予定になっています。

中学校の制服については、アンケート結果の報告があり、男子は冬用制服が詰め襟、夏用制服が開襟シャツ、女子は冬用制服がセーラータイプの希望が多く、その方向で決めたいということです。女子の夏用制服については、夏用セーラー服と開襟シャツの希望がほぼ同じで、現在、八森中、峰浜中で使用している開襟シャツと、ワイシャツに夏用セーラー服のそれぞれの価格を示し、再度アンケート調査を実施して、その結果を参考に制服選定委員会を検討しながら決定することとしているとの報告がありました。また、その際にセーラー服のデザインについても意見を募る予定としています。

校章については、一部変更を求められていましたので、変更したものを提示し、承認されています。

9月議会定例会に 提出した主な議案

- 八峰町個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町議会の議決に付すべき事件に関する条例制定について
- 八峰町と秋田県との間の行政不服審査会の事務の委託について
- 八峰町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- 町道路線の変更について
- 土地の取得について
- 平成27年度八峰町一般会計補正予算
4億2,356万円を増額するもの
主な追加補正分
八峰町誕生10周年記念特別番組制作委託料、定住推進用空き家改修工事費、個人番号制度に伴うネットワーク機器整備関係経費、振興作物生産取組支援事業費補助金、県単局所防災事業費、町道維持管理経費、農地農業用施設及び林業施設の災害復旧事業費、公共土木施設災害復旧事業費、財政調整基金積立金の追加など
- 各特別会計補正予算
平成26年度八峰町一般会計歳入歳出決算認定について
- 平成26年度各特別会計歳入歳出決算認定について